

## 府中市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（第6期）策定のための調査

## 医療・介護の連携：医療従事者調査

## 調査についてのお願い

市民の皆さまには日ごろから市政発展のため、ご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

府中市では、皆さまのご意見やご要望を幅広くお聴きし、平成27年3月に策定を予定しております「府中市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（第6期）」の基礎資料とするために、高齢者福祉全般の調査を実施します。

本調査は、府中市内の医療機関の中から、医師・看護師などの医療従事者をお願いをさせていただくものです。

貴医療機関・事業所の医師、歯科医師、薬剤師、看護師、訪問看護師、医療ソーシャルワーカーのいずれか1名に、ご回答をお願いできればと思います。

ご回答いただきました内容はすべて統計的に処理するとともに、「府中市個人情報の保護に関する条例」に基づき適正に取り扱い、調査目的以外に使用することはありません。お忙しいところ誠に恐縮に存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

平成25年10月 府中市

## 記入についてのお願い

1. 濃い鉛筆又は黒のボールペンで記入してください。
2. ご回答は、あてはまる選択肢の番号に○印をつけてください。
3. 質問によっては、○をつける選択肢の番号を「1つに○」、「いくつでも○」などと指定している場合は、指定の範囲内で○をつけてください。また、「その他」をお選びいただいた場合には、お手数ですが（ ）内に具体的な内容をご記入ください。
4. 質問によっては、ご回答いただく方が限られる場合がありますので、矢印（→）やことわり書きなど、次にご回答いただく質問番号への案内にご注意ください。

記入の終わった調査票は、同封の返信用封筒（切手は不要です。）に入れ、

**11月11日（月）までに** ご返送ください。

調査についてご質問などがありましたら、次までお問い合わせください。

## 【問合せ先】

府中市福祉保健部高齢者支援課地域支援係

TEL 042-335-4011（直通）

# おしらせ

この調査の結果については、平成26年4月頃に府中市のホームページで公開する他、調査報告書を府中市役所高齢者支援課窓口などに設置いたします。ぜひ、ご覧ください。

## 府中市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（第6期）策定までのスケジュール

府中市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（第6期）策定は、この調査結果などを基礎資料とし、市民、学識経験者、団体などから構成された「府中市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画推進協議会」で検討を進めながら策定します。

平成26年3月	この調査も含めた調査報告書を取りまとめます。
平成26年4月頃	調査報告書を府中市のホームページで公開するとともに、各関係機関に設置します。
平成26年秋頃	計画についてパブリックコメントを実施します。 ここでいただいたご意見をもとに計画を再調整します。
平成27年3月	府中市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（第6期）を策定します。

なお、現計画（府中市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定（第5期））は、前回の皆さまにご回答いただいたアンケートを基礎資料として策定し、府中市役所高齢者支援課窓口や中央図書館などにてご覧いただけます。

また、以下の府中市のホームページ（<http://www.city.fuchu.tokyo.jp/>）でもご覧いただけます。

### ◆府中市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（第5期）

府中市ホームページトップページ ⇒ 市政を身近に ⇒ 計画

⇒ 府中市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（第5期）

**最初に、あなたやあなたの所属されている  
医療機関についておたずねします**

問1 あなたが所属されている医療機関を教えてください。(1つに〇)

(N=202)

1. 病院	2.5%
2. 一般診療所（在宅療養支援診療所としての届出有）	5.0%
3. 一般診療所（在宅療養支援診療所としての届出無）	35.1%
4. 歯科診療所	31.2%
5. 薬局	11.4%
6. 訪問看護ステーション	13.9%
7. 病院の地域連携室	0.0%
8. その他〔具体的に： 〕	0.5%
無回答	0.5%

※ もし差し障りがなければ、あなたが所属している医療機関や診療科、事業所の名称、及びスタッフ数をお書きください。

医療機関などの名称〔 〕

スタッフ数〔平均〕(n=176)

1. 医師	〔1.24人〕	4. 看護師	〔3.06人〕
2. 歯科医師	〔0.46人〕	5. 訪問看護師	〔0.86人〕
3. 薬剤師	〔0.55人〕	6. 医療ソーシャルワーカー	〔0.08人〕

問2 あなたの職種は次のどれですか。(1つに〇)

(N=202)

1. 医師	36.6%	4. 看護師	3.5%
2. 歯科医師	32.2%	5. 訪問看護師	12.9%
3. 薬剤師	11.4%	6. 医療ソーシャルワーカー	3.0%
		無回答	0.5%

問3 あなたが所属されている医療機関や事業所の所在地はどこですか。(1つに〇)

(N=202)

1. 第1地区	多磨町、朝日町、紅葉丘、白糸台1～3丁目、若松町、浅間町、緑町	15.3%
2. 第2地区	白糸台4～6丁目、押立町、小柳町、八幡町、清水が丘、是政	16.3%
3. 第3地区	天神町、幸町、府中町、寿町、晴見町、栄町、新町	24.3%
4. 第4地区	宮町、日吉町、矢崎町、南町、本町、宮西町、片町	16.8%
5. 第5地区	日鋼町、武蔵台、北山町、西原町、美好町1～2丁目、本宿町3～4丁目、西府町3～4丁目、東芝町	10.9%
6. 第6地区	美好町3丁目、分梅町、住吉町、四谷、日新町、本宿町1～2丁目、西府町1～2、5丁目	16.3%
無回答		0.0%

## 在宅療養支援への取り組み状況についておたずねします

問4 府中市民への在宅療養支援への取り組み状況についておたずねします。

(1) は医師、(2) は歯科医師、(3) は薬剤師、(4) は看護師、  
(5) は訪問看護師、(6) は医療ソーシャルワーカーの方がお答えください。

(1) (医師の方) あなたは、平成 25 年9月中に在宅療養支援を行いましたか。(①~③それぞれ1つに○)

(n=74)

	行った	行わなかった	無回答
①訪問診療・往診	29.7%	67.6%	2.7%
②訪問看護ステーションへの指示書の交付	54.1%	43.2%	2.7%
③在宅での看取り	12.2%	79.7%	8.1%

(2) (歯科医師の方) あなたは、平成 25 年9月中に在宅療養支援を行いましたか。

(n=65)

	行った	行わなかった	無回答
①歯科医師による訪問診療	41.5%	56.9%	1.5%

(3) (薬剤師の方) あなたは、平成 25 年9月中に在宅療養支援を行いましたか。

(n=23)

	行った	行わなかった	無回答
①訪問調剤管理(薬剤師が患者宅を訪問して服薬状況を確認し新しい薬剤を配置)	13.0%	87.0%	0.0%

(4) (看護師の方) あなたの平成 25 年9月中の在宅療養支援に関する活動状況をお答えください。(①~③それぞれ1つに○)

(n=7)

	行った	行わなかった	無回答
①訪問診療・往診時の看護	14.3%	57.1%	28.6%
②訪問看護ステーションなどへの支援	0.0%	71.4%	28.6%
③在宅での看取りの支援	0.0%	71.4%	28.6%

(5) (訪問看護師の方) あなたの平成 25 年9月中の在宅療養支援に関する活動状況をお答えください。(①~③それぞれ1つに○)

(n=26)

	行った	行わなかった	無回答
①緊急対応時の訪問看護	53.8%	42.3%	3.8%
②医療保険による訪問看護	92.3%	7.7%	0.0%
③在宅での看取り	38.5%	57.7%	3.8%

(6) (医療ソーシャルワーカーの方) あなたの平成 25 年9月中の在宅療養支援に関する活動状況をお答えください。(①~③それぞれ1つに○)

(n=6)

	行った	行わなかった	無回答
①退院支援の相談	100.0%	0.0%	0.0%
②退院前(時) ケアカンファレンス	83.3%	16.7%	0.0%
③退院支援	100.0%	0.0%	0.0%

**全員の方がお答えください**  
**医療・介護の連携状況とお考えについておたずねします**

問5 あなたは、医療・介護の連携の必要性についてどのようにお考えですか。  
 (1つに〇)

(N=202)

- |          |       |     |       |
|----------|-------|-----|-------|
| 1. 必要である | →問6   | へ進む | 97.0% |
| 2. 必要でない | →問5-1 | へ進む | 1.5%  |
| 無回答      |       |     | 1.5%  |

問5-1 問5で、「2. 必要でない」と回答した方におたずねします。あなたが  
 そのように考える理由はつぎのどれですか。(1つに〇)

(n=3)

- |               |       |              |   |      |
|---------------|-------|--------------|---|------|
| 1. 医療と介護は別である | 66.7% | 3. その他〔具体的に： | 〕 | 0.0% |
| 2. 制度が異なる     | 33.3% | 無回答          |   | 0.0% |

問6 あなたは、府中市民の在宅療養者への医療と介護は、サービス担当者会議など  
 を通じて連携していると思いますか。(1つに〇)

(N=202)

- |                   |   |     |       |       |       |
|-------------------|---|-----|-------|-------|-------|
| 1. 十分連携していると思う    | } | →問7 | へ進む   | 10.4% |       |
| 2. ある程度連携していると思う  |   |     |       | 55.0% |       |
| 3. 連携が不十分であると思う   |   | }   | →問6-1 | へ進む   | 23.8% |
| 4. ほとんど連携していないと思う |   |     |       |       | 4.5%  |
| 無回答               |   |     |       | 6.4%  |       |

問6-1 問6で、「3. 連携が不十分であると思う」、「4. ほとんど連携していな  
 いと思う」と回答した方におたずねします。あなたがそのように考える理  
 由はつぎのどれですか。(3つまで〇)

(n=57)

- |                             |       |       |
|-----------------------------|-------|-------|
| 1. 介護保険など福祉の制度がわからない        | 28.1% |       |
| 2. お互いに多忙で連絡がとれない           | 36.8% |       |
| 3. 個人情報保護の観点から情報が共有されない     | 28.1% |       |
| 4. 交流の場がない                  | 52.6% |       |
| 5. 誰と連絡をとればいいのかわからない        | 35.1% |       |
| 6. 介護関係者の医療に関する知識や理解が不足している | 21.1% |       |
| 7. その他〔具体的に：                | 〕     | 21.1% |
| 無回答                         | 1.8%  |       |

問7 あなたは、退院前(時)カンファレンスやサービス担当者会議に出席したこと  
 がありますか。(1つに〇)

(N=202)

- |       |       |     |       |
|-------|-------|-----|-------|
| 1. ある | →問7-1 | へ進む | 19.8% |
| 2. ない | →問8   | へ進む | 77.7% |
| 無回答   |       |     | 2.5%  |

問7-1 問7で「1. ある」と答えた方におたずねします。その頻度はどのような状況ですか。具体的にお書きください。

問8 あなたは、介護サービス提供事業者との間で問題やトラブルの発生を経験したことがありますか。(1つに〇)

(N=202)

- |       |          |       |
|-------|----------|-------|
| 1. ある | →問8-1へ進む | 5.0%  |
| 2. ない | →問9へ進む   | 92.6% |
| 無回答   |          | 2.5%  |

問8-1 問8で「1. ある」と回答した方におたずねします。あなたは、どのような問題やトラブルの発生を経験しましたか。具体的にお書きください。

問9 あなたが関わるサービス利用者の情報について、次の関係機関、職種への連絡状況をお答えください。(①~⑩それぞれ1つに〇)

(N=202)

	い な い	ほ と ん ど と つ て	な い あ ま り と つ て い	い る あ る 程 度 と つ て	よ く と つ て い る	無 回 答
①病院	33.2%	15.3%	30.7%	9.9%	10.9%	
②サービス利用者のかかりつけ医（主治医）	30.7%	11.4%	32.2%	11.4%	14.4%	
③歯科医師	53.0%	8.9%	11.9%	8.9%	17.3%	
④薬剤師	51.0%	9.9%	17.8%	5.9%	15.3%	
⑤地域包括支援センター	44.6%	15.8%	20.3%	7.4%	11.9%	
⑥訪問看護ステーション	40.6%	11.4%	23.3%	11.4%	13.4%	
⑦訪問・通所リハビリテーション	48.5%	19.3%	14.9%	5.9%	11.4%	
⑧ケアマネジャー	31.7%	16.8%	23.8%	17.3%	10.4%	
⑨訪問介護（ヘルパー）	41.1%	23.8%	19.3%	4.5%	11.4%	
⑩通所介護（デイサービス）	48.5%	23.8%	13.4%	2.5%	11.9%	

問10 あなたは、今後在宅医療に関してどのようにお考えですか。(1つに〇)

(N=202)

- |               |         |     |       |
|---------------|---------|-----|-------|
| 1. 関心がある      | →問 11   | へ進む | 70.3% |
| 2. 積極的にかかわりたい | →問 10-1 | へ進む | 11.4% |
| 3. 関心がない      | →問 11   | へ進む | 15.3% |
| 無回答           |         |     | 3.0%  |

問 10-1 問 10 で「2. 積極的にかかわりたい」と回答した方におたずねします。  
 どのようにかかわりたいとお考えですか。具体的にお書きください。

問11 あなたは、医療職と介護職が連携するために、どのようなことが充実するとよいと思いますか。(いくつでも〇)

(N=202)

- |                                    |        |
|------------------------------------|--------|
| 1. 医師・歯科医がケアマネジャーの相談を受けるケアマネタイムの充実 | 36.1%  |
| 2. 在宅療養者の情報を共有化する統一的なフォーマットの作成     | 45.5%  |
| 3. 医療・介護の連携マニュアルの作成                | 41.1%  |
| 4. 医療関係者と介護関係者が情報交換できる交流の場の確保      | 41.1%  |
| 5. 在宅療養者の緊急時用のベッドの確保               | 26.2%  |
| 6. 関係者のためのネットうえで連絡がとれるような仕組み       | 24.3%  |
| 7. 医療（病院・診療所）と介護との役割分担             | 35.6%  |
| 8. その他〔具体的に：                       | 〕 2.5% |
| 無回答                                | 5.9%   |

※ 歯科医師の方は問 25 へ、薬剤師の方は問 33 へ、看護師の方は問 38 へ、訪問看護師の方は問 42 へ、医療ソーシャルワーカーの方は問 46 へ進んでください。

**医師の方におたずねします【問 12～問 24】**

問12 あなたの医療機関では、地域連携の部署を設置していますか。(1つに〇)

(n=74)

- |            |         |     |       |
|------------|---------|-----|-------|
| 1. 設置している  | →問 12-1 | へ進む | 4.1%  |
| 2. 設置していない | →問 13   | へ進む | 94.6% |
| 無回答        |         |     | 1.4%  |

問 12-1 問 12 で「1. 設置している」と回答した方におたずねします。あなたの医療機関における地域連携の部署は、どのような活動を行っていますか。(いくつでも〇)

(n=3)

- |  |         |
|--|---------|
| 1. かかりつけ医（主治医）とケアマネジャーとの連携を図るため、地域連携室が窓口となっている | 66.7%   |
| 2. 入院時から退院後の相談に応じている                           | 33.3%   |
| 3. 退院に関する情報を主治医、医療相談、看護師などの担当者間で共有している         | 33.3%   |
| 4. 地域の介護職を交えて退院前（時）カンファレンスを行っている               | 33.3%   |
| 5. その他〔具体的に：                                   | 〕 33.3% |
| 無回答  | 0.0%    |

問13 あなたの医療機関や診療科と、他科や他の医療機関との連携はとれていますか。  
(1つに○)

(n=74)

1. 十分連携している	17.6%	3. 連携が不十分である	23.0%
2. ある程度連携している	45.9%	4. ほとんど連携していない	10.8%
		無回答	2.7%

問14 あなたの医療機関では、在宅療養支援診療所の届出を行っていますか。  
(1つに○)

(n=74)

1. 既に行っている	} →問 15へ進む	9.5%
2. 今後届出を行う計画である→平成〔 〕年		1.4%
3. 検討中		6.8%
4. 届出を行う計画はない →問 14-1へ進む		79.7%
無回答		2.7%

問 14-1 問 14で「4. 届出を行う計画はない」と回答した方におたずねします。  
その理由はずぎのどれですか。(いくつでも○)

(n=59)

1. 時間がない	66.1%	6. ターミナルケアへの対応がわからない	6.8%
2. 報酬が少ない	1.7%	7. 自分がしなくてもいいと思う	6.8%
3. 特に要請がない	23.7%	8. 面倒である	6.8%
4. 保険請求がわからない	5.1%	9. その他〔具体的に： 〕	25.4%
5. 在宅診療は難しいので不安	16.9%	無回答	0.0%

問15 あなたの医療機関では、在宅医療支援ベッドを確保していますか。(1つに○)

(n=74)

1. 確保している→〔 〕床 →問 16へ進む	1.4%
2. 確保していない →問 15-1へ進む	93.2%
無回答	5.4%

問 15-1 問 15で「2. 確保していない」と回答した方におたずねします。  
今後在宅支援ベッドを確保する計画がありますか(1つに○)

(n=69)

1. ある→平成〔 〕年	0.0%	3. ない	95.7%
2. 検討中	1.4%	無回答	2.9%

問16 あなたは、介護関係者との情報交換の機会を確保していますか。(1つに○)

(n=74)

1. 確保している→1か月平均〔 〕時間程度 (平均 4.43時間)	9.5%
2. 確保していない	83.8%
無回答	6.8%

問17 あなたは、ケアプランの送付と受け取りの必要性についてどのようにお考えですか。(1つに○)

(n=74)

1. 必要性を感じている	31.1%	3. あまり必要性を感じていない	18.9%
2. やや必要性を感じている	40.5%	4. まったく必要性を感じていない	4.1%
		無回答	5.4%



問18 あなたは、介護保険制度及び介護サービスの内容についてどの程度習熟していますか。(1つに○)

(n=74)

1. 十分理解している	12.2%	3. あまり理解していない	44.6%
2. やや理解している	36.5%	4. まったく理解していない	5.4%
		無回答	1.4%

問19 あなたは、介護従事者にどのようなことを期待していますか。(いくつでも○)

(n=74)

1. 医療の知識を深めてほしい	28.4%
2. 介護職としての専門性や技術力を向上してほしい	54.1%
3. 本人及び介護現場の状況を積極的に医療職に伝える努力をしてほしい	40.5%
4. ケアマネジャーとの連携を密に行ってほしい	44.6%
5. その他〔具体的に： 〕	0.0%
6. 特に期待はしていない	14.9%
無回答	4.1%

問20 あなたが担当している患者のうち、認知症の症状がある人は何割くらいですか。

(n=74)

割くらい (平均 1.14 人)

問21 あなたは認知症の方を治療するとき困ることがありますか。(いくつでも○)

(n=74)

1. 処方した薬の飲み間違いがある	43.2%
2. 病気に対する適切な対応の仕方がわからない	20.3%
3. 処方する薬のことがわからない	17.6%
4. 本人や家族から正確な情報が得られない	37.8%
5. 治療の方針が理解してもらえない	21.6%
6. 症状や状態の変化によって治療が難しい	43.2%
7. その他〔具体的に： 〕	8.1%
8. 特にない	12.2%
無回答	6.8%

問22 あなたは、認知症の人の治療を、専門医に紹介することがありますか。

(n=74)

1. ある →問 22-1 へ進む	73.0%	2. ない →問 23 へ進む	24.3%
		無回答	2.7%

問 22-1 問 22 で「1. ある」と回答した人におたずねします。どのような目的で紹介をしますか。(いくつでも○)

(n=54)

1. 認知症の鑑定診断を依頼する	70.4%	4. 治療を依頼するため	72.2%
2. 治療方針の助言を受けるため	42.6%	5. その他〔具体的に： 〕	3.7%
3. 処遇に関する参考意見を得るため	20.4%	無回答	3.7%

問 22-2 どのような機関の専門医ですか。(いくつでも○)

(n=54)

- |                               |        |
|-------------------------------|--------|
| 1. 認知症疾患医療センターの専門医            | 55.6%  |
| 2. 高齢者医療の専門機関の専門医             | 33.3%  |
| 3. 高齢者医療の専門ではないが設備のある医療機関の専門医 | 44.4%  |
| 4. その他〔具体的に：                  | 〕 7.4% |
| 無回答                           | 3.7%   |

問 22-3 その時どのようなことが問題になりますか。(いくつでも○)

(n=54)

- |                    |        |
|--------------------|--------|
| 1. 本人や家族の理解が得られない  | 20.4%  |
| 2. 適切な医療機関がわからない   | 16.7%  |
| 3. 紹介する先が多忙で時間がかかる | 31.5%  |
| 4. 手続きが煩雑で時間がかかる   | 9.3%   |
| 5. その他〔具体的に：       | 〕 3.7% |
| 6. 特に問題はない         | 40.7%  |
| 無回答                | 5.6%   |

問23 あなたは、次のような研修などを受けたことがありますか。(いくつでも○)

(n=74)

- |  |        |
|--|--------|
| 1. 認知症サポーター養成講座<br>地域のなかで認知症について正しく理解し認知症の人や家族を温かく見守り、支援する応援者の研修   | 5.4%   |
| 2. キャラバン・メイト養成研修<br>地域の認知症サポーター養成講座の企画や講師を務める指導者を育成する研修            | 0.0%   |
| 3. かかりつけ医認知症対応力向上研修<br>かかりつけ医に対し、適切な認知症診断の知識、家族からの話や悩みを聞く姿勢を習得する研修 | 33.8%  |
| 4. 認知症サポート医養成研修<br>かかりつけ医への助言など、認知症地域医療体制の中核的役割を担う医師を養成する研修        | 10.8%  |
| 5. その他〔具体的に：   | 〕 1.4% |
| 無回答  | 59.5%  |

問24 あなたは今後、認知症や認知症の介護に関する研修があれば受けてみたいですか。

(1つに○)

(n=74)

- |                |       |
|----------------|-------|
| 1. 受けてみたい      | 50.0% |
| 2. 受けたくない      | 18.9% |
| 3. わからない・関心がない | 29.7% |
| 無回答            | 1.4%  |

【次は問 50 へ進んでください】

歯科医師の方におたずねします【問 25～問 32】

問25 あなたは、訪問歯科診療や往診を行っていますか。(1つに○)

(n=65)

- |           |             |       |
|-----------|-------------|-------|
| 1. 行っている  | →問 25-1 へ進む | 64.6% |
| 2. 行っていない | →問 26 へ進む   | 35.4% |
| 無回答       |             | 0.0%  |

問 25-1 問 25 で「1. 行っている」とお答えの方におたずねします。あなたは、訪問時に口腔衛生指導などを実施していますか。(1つに〇)

(n=42)

1. 実施している	81.0%	2. 実施していない	9.5%
		無回答	9.5%

問 25-2 あなたは、歯科衛生士による訪問歯科衛生指導及び居宅療養管理指導を実施していますか。(1つに〇)

(n=42)

1. 実施している	64.3%	2. 実施していない	31.0%
		無回答	4.8%

問 25-3 訪問歯科診療や往診の依頼元はどこですか。(いくつでも〇)

(n=42)

1. 通院していた患者が訪問歯科診療や往診を受けるようになった	50.0%	6. 都立心身障害者口腔保健センターからの紹介	0.0%
2. 以前からのかかりつけ歯科医師	16.7%	7. ケアマネジャー	9.5%
3. 歯科医師会からの依頼	83.3%	8. 訪問看護ステーション	2.4%
4. 主治医	7.1%	9. 介護保険サービス事業者	4.8%
5. 病院からの紹介	4.8%	10. 本人または家族	40.5%
		11. その他〔具体的に： 〕	2.4%
		無回答	2.4%

問 25-4 訪問歯科診療や往診で対応可能な治療は何ですか。(いくつでも〇)

(n=42)

1. 義歯の作成や調整	100.0%	5. 歯科衛生指導	76.2%
2. むし歯の治療	85.7%	6. 応急処置のみ	16.7%
3. 歯周病の治療	76.2%	7. その他〔具体的に： 〕	11.9%
4. 摂食・嚥下指導	26.2%	無回答	0.0%

問26 今後依頼があった場合に訪問歯科診療や往診の実施は可能ですか。(1つに〇)

(n=65)

1. 依頼があれば、訪問する	47.7%	3. 訪問はできない	18.5%
2. 訪問するが、治療内容によっては通院してほしい	27.7%	4. その他〔具体的に： 〕	4.6%
		無回答	1.5%

問27 あなたの診療所では在宅療養支援歯科診療所の届出を行っていますか。

(1つに〇)

(n=65)

1. 既に行っている	} →問 28 へ進む	18.5%
2. 今後届出を行う予定である→平成〔 〕年		0.0%
3. 検討中		41.5%
4. 届出を行う計画はない →問 27-1 へ進む		40.0%
無回答		0.0%

問 27-1 問 27 で「4. 届出を行う予定はない」と回答した方におたずねします。  
その理由はつぎのどれですか。(いくつでも○)

(n=26)

1. 時間がない	34.6%	6. 摂食・嚥下障害への対応が	11.5%
2. 報酬が少ない	3.8%	わからない	
3. 特に要請がない	23.1%	7. 自分がしなくてもいいと思う	7.7%
4. 保険請求がわからない	11.5%	8. 面倒である	11.5%
5. 在宅の歯科治療は難しいので不安	19.2%	9. その他〔具体的に： 〕	38.5%
		無回答	0.0%

問28 あなたは、在宅で療養生活を送っている府中市民の方のかかりつけ医（主治医）と連携していますか。（1つに○）

(n=65)

1. 連携している	→問 29 へ進む	18.5%
2. あまり連携していない	} →問 28-1 へ進む	36.9%
3. 連携していない		40.0%
無回答		4.6%

問 28-1 問 28 で「2. あまり連携していない」、「3. 連携していない」と回答した方におたずねします。その理由はつぎのどれですか。（1つに○）

(n=50)

1. 必要と思わない	12.0%	3. その他〔具体的に： 〕	26.0%
2. 連携の方法がわからない	56.0%	無回答	6.0%

問29 あなたは、在宅で療養生活を送っている府中市民の方のケアマネジャーと連携していますか。（1つに○）

(n=65)

1. 連携している	24.6%	3. 連携していない	46.2%
2. あまり連携していない	26.2%	無回答	3.1%

問30 あなたは、訪問歯科診療など以外の通常の歯科診療の中で、摂食・嚥下障害のある患者に対して、摂食・嚥下に関する指導などを行っていますか。（1つに○）

(n=65)

1. 行っている	→問 31 へ進む	36.9%
2. 行っていない	→問 30-1 へ進む	63.1%
無回答		0.0%

問 30-1 問 30 で「2. 行っていない」と回答した方におたずねします。  
行っていない理由はつぎのどれですか。（いくつでも○）

(n=41)

1. 知識がない	36.6%	4. 行うつもりはない	7.3%
2. 研修や勉強する場がない	9.8%	5. その他〔具体的に： 〕	34.1%
3. 一人で対応するのは不安	39.0%	無回答	0.0%

問31 医療と在宅ケアの間でどのようなことに苦労していますか。

問32 あなたは、介護従事者にどのようなことを期待していますか。(いくつでも〇)

(n=65)

- |                                    |       |
|------------------------------------|-------|
| 1. 医療の知識を深めてほしい                    | 29.2% |
| 2. 介護職としての専門性や技術力を向上してほしい          | 32.3% |
| 3. 本人及び介護現場の状況を積極的に医療職に伝える努力をしてほしい | 47.7% |
| 4. ケアマネジャーとの連携を密に行ってほしい            | 36.9% |
| 5. その他〔具体的に： 〕                     | 9.2%  |
| 6. 特に期待はしていない                      | 4.6%  |
| 無回答                                | 13.8% |

【次は問 50 へ進んでください】

### 薬剤師の方におたずねします【問 33～問 37】

問33 あなたは、在宅患者訪問薬剤管理指導（居宅療養管理指導）の届出を行っていますか。(1つに〇)

(n=23)

- |                       |       |
|-----------------------|-------|
| 1. 行っている →問 33-1 へ進む  | 73.9% |
| 2. 行っていない →問 33-4 へ進む | 26.1% |
| 無回答                   | 0.0%  |

問 33-1 問 33 で「1. 行っている」と回答した方におたずねします。あなたの薬局を利用されている方の中に、現在、在宅患者訪問薬剤管理指導（居宅療養管理指導）を利用している府中市民の方はいますか。(1つに〇)

(n=17)

- |                             |       |        |       |
|-----------------------------|-------|--------|-------|
| 1. いる →〔 〕人<br>(平均 65.67 人) | 17.6% | 2. いない | 76.5% |
|                             |       | 無回答    | 5.9%  |

問 33-2 あなたは、医師との連携はどのようにしていますか。(1つに〇)

(n=17)

- |                   |             |       |
|-------------------|-------------|-------|
| 1. 処方箋のみのやりとり     | →問 34 へ進む   | 35.3% |
| 2. 処方箋以外の連携や指示がある | →問 33-3 へ進む | 58.8% |
| 3. その他〔具体的に： 〕    | →問 34 へ進む   | 5.9%  |
| 無回答               |             | 0.0%  |

問 33-3 問 33-2 で「2. 処方箋以外の連携や指示がある」と回答した方におたずねします。具体的にどのような手段が用いられていますか。(いくつでも〇)

(n=10)

- |                                |       |
|--------------------------------|-------|
| 1. 診療情報の提供がある → (①文書 ②口頭 ③その他) | 90.0% |
| 2. 訪問 → (①医師を訪問 ②医師が薬局を訪問)     | 70.0% |
| 3. 電話                          | 60.0% |
| 4. ファックス                       | 20.0% |
| 5. 電子メール                       | 0.0%  |
| 6. ケース会議・カンファレンスに参加            | 10.0% |
| 7. その他〔具体的に： 〕                 | 0.0%  |
| 無回答                            | 0.0%  |

問 33-4 問 33 で「2. 行っていない」と回答した方におたずねします。あなたは、今後、在宅患者訪問薬剤管理指導の届出を行う計画がありますか。

(1つに〇)

(n=6)

1. 届出を行う計画がある	→平成〔 〕年	} →問 34 へ進む	0.0%
2. 検討中			33.3%
3. 届出を行う計画はない	→問 33-5 へ進む		66.7%
無回答			0.0%

問 33-5 問 33-4 で「3. ない」と回答した方におたずねします。その理由は次のどれですか。(いくつでも〇)

(n=4)

1. 時間がない	50.0%	6. 在宅の薬剤管理指導の対応がわからない	0.0%
2. 報酬が少ない	0.0%	7. 自分がしなくてもいいと思う	0.0%
3. 特に要請がない	50.0%	8. 面倒である	0.0%
4. 保険請求がわからない	0.0%	9. その他〔具体的に： 〕	25.0%
5. 在宅の薬剤管理指導が難しいので不安	0.0%	無回答	0.0%

問34 あなたは、府中市内で訪問診療を行う在宅療養支援診療所の処方箋をどのくらい取り扱っていますか。(1つに〇)

(n=23)

1. ある	→1か月平均〔 〕人 (平均 19.82人)	47.8%
2. ない		47.8%
無回答		4.3%

問35 あなたは、在宅で療養生活を送っている府中市民の方のケアマネジャーと連携していますか。(1つに〇)

(n=23)

1. 連携している	8.7%	3. 連携していない	69.6%
2. あまり連携していない	21.7%	無回答	0.0%

問36 医療と在宅の間で、どんなことに苦労していますか。具体的にお書きください。

問37 あなたは、介護従事者にどのようなことを期待していますか。(いくつでも〇)

(n=23)

1. 医療の知識を深めてほしい	0.0%
2. 介護職としての専門性や技術力を向上してほしい	17.4%
3. 本人及び介護現場の状況を積極的に医療職に伝える努力をしてほしい	43.5%
4. ケアマネジャーとの連携を密に行ってほしい	21.7%
5. その他〔具体的に： 〕	0.0%
6. 特に期待はしていない	4.3%
無回答	34.8%

【次は問 50 へ進んで下さい】

## 看護師の方におたずねします【問 38～問 41】

問38 あなたは日ごろ、在宅療養支援の活動をしていますか。(1つに〇)

(n=7)

- |          |             |       |
|----------|-------------|-------|
| 1. している  | →問 38-1 へ進む | 14.3% |
| 2. していない | →問 39 へ進む   | 71.4% |
| 無回答      |             | 14.3% |

問 38-1 問 38で「1. している」と回答した方におたずねします。どのような活動を行っていますか。(いくつでも〇)

(n=1)

- |   |   |        |
|---|---|--------|
| 1. かかりつけ医（主治医）とケアマネジャーとの連携を図るための支援をしている |   | 0.0%   |
| 2. 患者の退院後の相談に応じている                      |   | 0.0%   |
| 3. 退院に関する情報を主治医、医療相談、看護師などの担当者間で共有している  |   | 100.0% |
| 4. 地域の介護職を交えた退院前（時）カンファレンスに加わっている       |   | 0.0%   |
| 5. その他〔具体的に：                            | 〕 | 0.0%   |
| 無回答                                     |   | 0.0%   |

問39 あなたは、介護関係者との情報交換の機会を確保していますか。(1つに〇)

(n=7)

- |            |                    |       |
|------------|--------------------|-------|
| 1. 確保している  | →1 か月平均〔     〕時間程度 | 14.3% |
| 2. 確保していない |                    | 71.4% |
| 無回答        |                    | 14.3% |

問40 あなたは、介護保険制度及び介護保険サービスの内容についてどの程度習熟していますか。(1つに〇)

(n=7)

- |             |       |                |       |
|-------------|-------|----------------|-------|
| 1. 十分理解している | 0.0%  | 3. あまり理解していない  | 71.4% |
| 2. やや理解している | 14.3% | 4. まったく理解していない | 0.0%  |
|             |       | 無回答            | 14.3% |

問41 あなたは、介護サービス従事者にどのようなことを期待していますか。

(いくつでも〇)

(n=7)

- |                                    |   |       |
|------------------------------------|---|-------|
| 1. 医療の知識を深めてほしい                    |   | 14.3% |
| 2. 介護職としての専門性や技術力を向上してほしい          |   | 42.9% |
| 3. 本人及び介護現場の状況を積極的に医療職に伝える努力をしてほしい |   | 71.4% |
| 4. ケアマネジャーとの連携を密に行ってほしい            |   | 14.3% |
| 5. その他〔具体的に：                       | 〕 | 0.0%  |
| 6. 特に期待はしていない                      |   | 0.0%  |
| 無回答                                |   | 14.3% |

【次は問 50 へ進んで下さい】

## 訪問看護師の方におたずねします【問 42～問 45】

問42 あなたは、在宅医療を実施している医療機関と、連携がとれていると思いますか。(①～③それぞれ1つに○)  
(n=26)

	まったく れていない	あまりと れてい ない	ある程 度と れて いる	十分と れて いる	無回 答
①在宅療養者の医療・看護に関する情報の交換	0.0%	19.2%	61.5%	15.4%	3.8%
②在宅療養者の急変時の対応	0.0%	15.4%	50.0%	30.8%	3.8%
③24時間の支援体制	11.5%	11.5%	50.0%	26.9%	0.0%

問 42-1 へ進む
問 43 へ進む

問 42-1 問 42 で1つでも「まったくとれていない」、「あまりとれていない」と答えた方におたずねします。その理由を、自由にお書きください。

問43 あなたは、どのようなことが在宅医療を阻害する要因であるとお考えですか。それぞれ優先度の高い順に  内に番号を記入してください。

① 患者・家族側について

(n=26)

1. 患者や家族が在宅医療を受入れることが難しい
2. 在宅医療に伴う家族の介護負担の大きい
3. 患者・家族の経済的な負担が大きい
4. 在宅医療に関する情報が不足している

無回答

第1位	第2位	第3位	第4位
23.1%	15.4%	19.2%	38.5%
23.1%	53.8%	23.1%	0.0%
7.7%	19.2%	30.8%	34.6%
42.3%	7.7%	23.1%	23.1%
3.8%	3.8%	3.8%	3.8%

第1位  第2位  第3位  第4位

② 入院患者を在宅医療へ移行させる病院側について

(n=26)

1. 入院患者を在宅医療につなげようとする意識が低い
2. 退院支援や在宅医療への移行をコーディネートする専門職の力量が不足している
3. 病院から診療所への逆紹介や患者への退院支援を行うための診療報酬が低い
4. 在宅医療を提供する医療機関に関する情報が不足している

無回答

第1位	第2位	第3位	第4位
38.5%	11.5%	19.2%	26.9%
34.6%	34.6%	23.1%	3.8%
0.0%	23.1%	23.1%	50.0%
23.1%	26.9%	30.8%	15.4%
3.8%	3.8%	3.8%	3.8%

第1位  第2位  第3位  第4位



③ 診療所側について

(n=26)

1. 診療所医師の在宅医療に対する熱意、療養生活全般を支える認識が不足している
2. 在宅医療を提供する人的資源などが不足している  
(医師数・看護師数の不足、24時間対応するための協力体制や在宅医療の専門知識や技術が不足している)
3. 診療所が在宅医療を行うための診療報酬が低い
4. 診療所医師が活用できる在宅医療の社会資源情報が不足している

第1位	第2位	第3位	第4位
30.8%	26.9%	15.4%	15.4%
42.3%	34.6%	11.5%	0.0%
3.8%	7.7%	30.8%	46.2%
11.5%	19.2%	30.8%	26.9%
11.5%	11.5%	11.5%	11.5%

第1位  第2位  第3位  第4位

④ 訪問看護ステーション側について

(n=26)

1. 訪問看護師の在宅医療に対する熱意が低い
2. 訪問看護を提供する人的資源が不足している  
(訪問看護師数の不足、24時間対応できる訪問看護体制の確保が困難、訪問看護業務の範囲が制限されているなど)
3. 訪問看護ステーションが訪問看護を行うための診療報酬が低い
4. 訪問看護師が活用できる在宅医療関連の社会資源情報が不足している

第1位	第2位	第3位	第4位
0.0%	3.8%	7.7%	84.6%
61.5%	19.2%	15.4%	0.0%
11.5%	38.5%	42.3%	7.7%
23.1%	34.6%	30.8%	3.8%
3.8%	3.8%	3.8%	3.8%

第1位  第2位  第3位  第4位

⑤ ケアマネジャー側について

(n=26)

1. ケアマネジャーの在宅医療に対する知識や経験が不足している
2. 在宅医療に精通したケアマネジャーの人的資源が不足している
3. ケアマネジャーと医療関係者の連携が十分ではない
4. ケアマネジャーが活用できる在宅医療関連の社会資源情報が不足している

第1位	第2位	第3位	第4位
23.1%	30.8%	19.2%	19.2%
23.1%	30.8%	23.1%	15.4%
26.9%	26.9%	23.1%	15.4%
19.2%	3.8%	26.9%	42.3%
7.7%	7.7%	7.7%	7.7%

第1位  第2位  第3位  第4位

問44 あなたは、在宅医療を実践するうえで、次の1.～5.についてどの状況の改善を優先すべきとお考えですか。優先度の高い順に  内に番号を記入してください。

(n=26)

1. 患者・家族側の状況が改善する
2. 患者を在宅医療へ移行させる病院側の状況が改善する
3. 在宅医療を担う診療所側の状況が改善する
4. 訪問看護を行う訪問看護ステーション側の状況が改善する
5. 介護サービスをコーディネートするケアマネジャー側の状況が改善する

第1位	第2位	第3位	第4位
26.9%	7.7%	7.7%	3.8%
30.8%	19.2%	23.1%	7.7%
30.8%	23.1%	15.4%	19.2%
0.0%	19.2%	26.9%	15.4%
3.8%	19.2%	15.4%	42.3%
7.7%	11.5%	11.5%	11.5%

第1位  第2位  第3位  第4位

問45 あなたは、介護従事者にどのようなことを期待していますか。(いくつでも○)

(n=26)

- |                                    |        |
|------------------------------------|--------|
| 1. 医療の知識を深めてほしい                    | 26.9%  |
| 2. 介護職としての専門性や技術力を向上してほしい          | 73.1%  |
| 3. 本人及び介護現場の状況を積極的に医療職に伝える努力をしてほしい | 73.1%  |
| 4. ケアマネジャーとの連携を密に行ってほしい            | 53.8%  |
| 5. その他〔具体的に：                       | 〕 3.8% |
| 6. 特に期待はしていない                      | 0.0%   |
| 無回答                                | 0.0%   |

【次は問50に進んでください】

医療ソーシャルワーカーの方におたずねします

【問46～問49】

問46 あなたは、どのような地域連携活動を行っていますか。(いくつでも○)

(n=6)

- |  |         |
|--|---------|
| 1. かかりつけ医（主治医）とケアマネジャーとの連携を図る窓口となっている          | 83.3%   |
| 2. 入院時から退院後の相談に応じている                           | 50.0%   |
| 3. 退院に関する情報をかかりつけ医（主治医）、医療相談、看護師などの担当者間で共有している | 50.0%   |
| 4. 地域の介護職を交えて退院前（時）カンファレンスを行っている               | 50.0%   |
| 5. その他〔具体的に：                                   | 〕 33.3% |
| 無回答  | 0.0%    |

問47 貴医療機関における介護保険施設からの患者の受入れ、転帰（サービス中止）、施設に戻った人について、あなたが平成25年9月中に担当した人数をご記入ください。

(n=2)

	受入れ人数 〔平均〕	転帰人数 〔平均〕	施設に戻った 人数〔平均〕
①介護老人福祉施設	0.50 人	1.00 人	0.00 人
②介護老人保健施設	1.00 人	0.00 人	3.00 人
③介護療養型医療施設	0.00 人	0.00 人	0.00 人
④有料老人ホーム	1.50 人	0.00 人	0.00 人
⑤ケアハウス	0.00 人	0.00 人	0.00 人
⑥グループホーム	0.00 人	0.00 人	0.00 人

問48 あなたは、介護保険施設とどのように連携していますか。(いくつでも○)

(n=6)

- |                                     |         |
|-------------------------------------|---------|
| 1. 介護保険施設の医師から入所者の健康管理や処置の情報を入手している | 16.7%   |
| 2. 介護保険施設に訪問診療や往診に行っている             | 0.0%    |
| 3. 介護保険施設と提携している                    | 0.0%    |
| 4. 急変時に受け入れるベッドを確保している              | 0.0%    |
| 5. その他〔具体的に：                        | 〕 16.7% |
| 無回答                                 | 66.7%   |

問49 医療と在宅ケアの間で、どのようなことに苦労していますか。

### 全員の方に、医療と介護の連携における リハビリテーションについておたずねします

問50 介護保険における「リハビリテーション」であなたが問題だと思うことは次のどれですか。(いくつでも○)

(N=202)

- |  |       |
|--|-------|
| 1. 訪問介護などの介護サービスでのリハビリテーションの理念が十分でないこと | 27.7% |
| 2. 通所・訪問など在宅でのリハビリテーションが十分でないこと        | 32.2% |
| 3. 通所介護類似の通所リハビリテーションが行われていること         | 12.4% |
| 4. 介護従事者にリハビリテーションの知識や情報が不足していること      | 21.3% |
| 5. サービス提供事業者が少なく利用できないこと               | 25.2% |
| 6. リハビリテーションの人材が不足していること               | 40.6% |
| 7. その他〔具体的に：                           | 9.4%  |
| 無回答                                    | 18.8% |

問51 医療・介護の連携における「リハビリテーション」の問題で、あなたが感じることは次のどれですか。(いくつでも○)

(N=202)

- |                                       |       |
|---------------------------------------|-------|
| 1. 医療・介護への連続するシステムが機能していないこと          | 29.2% |
| 2. 在宅でのリハビリテーションが十分ではないこと             | 32.2% |
| 3. リハビリテーションとケアの境界が明確にされていないこと        | 20.3% |
| 4. リハビリテーション職までを含めた多職種連携が進んでいないこと     | 24.8% |
| 5. 患者のリハビリテーションに関する情報が共有されていないこと      | 27.7% |
| 6. リハビリテーションの効果測定基準が明確でないこと           | 19.8% |
| 7. リハビリテーションを包括的に提供できる地域のリハビリ拠点が少ないこと | 29.7% |
| 8. その他〔具体的に：                          | 6.9%  |
| 無回答                                   | 19.8% |

問52 医療・介護の連携における「リハビリテーション」について、日ごろお考えのこと、また、行政が果たす役割だと思うことを自由にお書きください。

## 地域包括ケアシステムに向けた 医療と介護の連携についておたずねします

問53 2025年に向けて地域包括ケアシステムの構築が求められていますが、その中で医療・介護の連携は最重要課題であるといわれています。あなたは、これから府中市で医療・介護の連携が進むために、どのようなことが必要だとお考えですか。( (1) ~ (4) それぞれ2つまで〇)

(N=202)

### (1) 連携の仕組みづくり (2つまで〇)

- |                                       |       |
|---------------------------------------|-------|
| 1. 多職種との顔の見える関係づくり、交流を進める             | 45.5% |
| 2. 府中市内に包括的な医療介護の連携拠点を整備する            | 44.1% |
| 3. 医療介護の療養連携共通シートをつくる                 | 20.8% |
| 4. 患者の情報などをネットうえで共有するツールを開発する         | 11.9% |
| 5. 摂食・嚥下、緩和ケア、認知症の初期集中支援などの多職種チームをつくる | 23.3% |
| 6. その他〔具体的に： _____〕                   | 1.5%  |
| 無回答                                   | 12.4% |

### (2) 地域の人材育成 (2つまで〇)

- |                                  |       |
|----------------------------------|-------|
| 1. 医療・介護の相互理解のための専門研修を進める        | 40.1% |
| 2. 栄養士、歯科衛生士なども含めた専門職の人材把握・発掘を行う | 24.3% |
| 3. 多職種が参加して学ぶ事例検討会や学習会を増やす       | 34.2% |
| 4. 在宅医療や介護予防に関心のある地域活動リーダーを増やす   | 18.3% |
| 5. 在宅医療を担う訪問看護師などの人材育成を進める       | 28.2% |
| 6. その他〔具体的に： _____〕              | 0.5%  |
| 無回答                              | 13.9% |

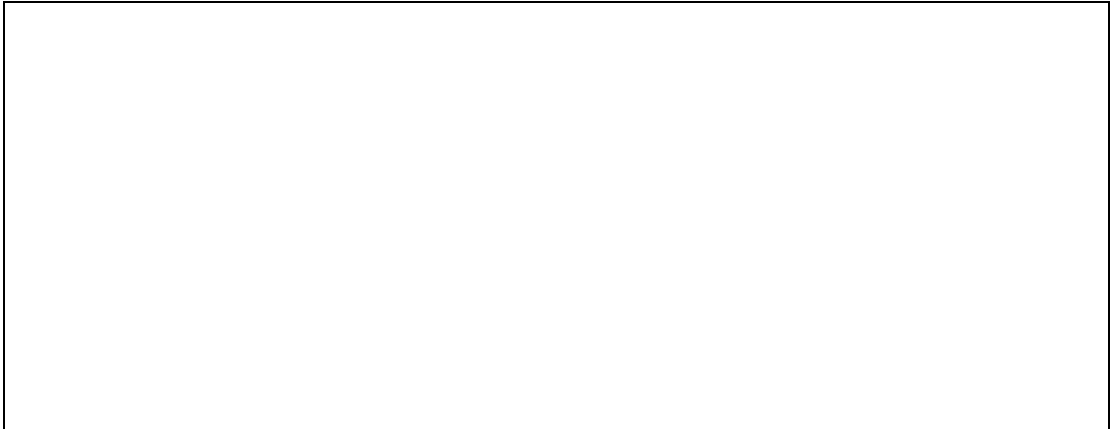
### (3) サービス・基盤整備 (2つまで〇)

- |                                      |       |
|--------------------------------------|-------|
| 1. 随時対応の訪問介護看護などの在宅サービスを充実させる        | 29.2% |
| 2. 病院による、在宅療養の後方支援の仕組みを充実させる         | 37.1% |
| 3. 独居の方や医療依存度の高い方が在宅で暮らせる支援策を充実する    | 32.2% |
| 4. 医療や介護を受けながら住み続けられる高齢者の住まいを充実する    | 32.2% |
| 5. 要介護認定の簡素化など末期がん患者などのサービス利用をしやすくする | 20.3% |
| 6. その他〔具体的に： _____〕                  | 0.5%  |
| 無回答                                  | 12.9% |

### (4) 相談支援・情報提供 (2つまで〇)

- |                                    |       |
|------------------------------------|-------|
| 1. 府中市に在宅療養支援相談窓口を設置する             | 47.0% |
| 2. 地域包括支援センターに医療連携相談員・支援員を設置する     | 38.6% |
| 3. かかりつけ医をサポートする専門医制度をつくる          | 19.3% |
| 4. 講座などを開き、市民の「在宅療養」や「看取り」への関心を高める | 16.3% |
| 5. 府中市内の医療・介護や福祉に関する社会資源マップを作成する   | 21.8% |
| 6. その他〔具体的に： _____〕                | 2.0%  |
| 無回答                                | 14.9% |

問54 最後に、在宅療養者に対する医療や介護サービスのあり方、その他介護・医療保険制度などを含め、医療・介護の連携についてのご意見、ご要望などがございましたら、ご自由にお書きください。



——ご協力ありがとうございました——